

# とうべつ

# 議会だより

# No 186

平成28年8月1日発行



夏至祭を盛り上げたとべのすけ



ミッドサマーウェディングに選ばれた二組のカップル



リースの行進に参加した女の子



マイストングの立ち上げと応援する観客

大勢の人が参加した夏至祭（6月19日撮影）

## 第3回 臨時会

平成28年5月

## 第4回 定例会

平成28年6月

第3回臨時会・第4回定例会	2~3
---------------	-----

常任委員会	4~5
-------	-----

一般質問	6~9
------	-----

議会報告会	10~11
-------	-------

議員研修会、議会のうごき、編集後記	12
-------------------	----

# 平成 28 年第 3 回当別町議会臨時会

(日程 5月 24 日) 傍聴人数 0 名

## 【補正予算】

### ■一般会計補正予算 (第 1 号)

補正額 5 億 8,907 万円 (増)

平成 28 年度総額 93 億 5,026 万円

#### 《主な補正内容》

○ (仮称) 当別町道の駅建設工事 5 億 7,328 万円

○ (仮称) 当別町道の駅建設工事監理業務委託  
1,244 万円

#### 質疑 (佐藤議員)

今後さらに国や道などから補助金を確保できる可能性はあるか。また、道の駅に限らず、起債額が、不測の事態で増えることがないような万全な手立てをどのように講じているか。

#### (道の駅推進室長)

今回の工事は、平成 28 年度、29 年度と 2 ヶ年に分かれており、28 年度は、基本的にはないと思う。29 年度については、今現在想定外の新たな補助制度等も確立されることもあるので、補助事業のメニューを見ながら検討していきたい。

#### (財政課長)

公債費に対する指標は高い水準にあるため、類似団体や全道の他市町村の平均値を参考にし、財政健全化に向けた取り組みを引き続き継続していきたい。

#### (山崎議員)

道の駅について、昨年 12 月に T P P に伴う制度変更があり、それからの 5 ヶ月間、補助金を獲得するためにどのような取組みを行ったか。

#### (道の駅推進室長)

昨年 11 月、農水省の補助制度が大幅に変更され、約 2 億 9,000 万円補助が大きく削られ、町では、新たに交付税措置のある地域活性化事業債の活用に向け総務省との交渉を開始し、これに加え、北海道とも補助金の増額の交渉をし、

一定の財源の目途が立った。また、地方創生の動きを捉えながら、内閣府などにも働きかけを行いながらここまでに至った。

#### (鈴木議員)

道の駅について、町政報告や町政懇談会を行う考えはあるか。

#### (町長)

町政報告は、行っていく考えである。懇談会は、町民の声が高ければ、できる限り行っていく必要があると思っている。

#### 反対討論 (澁谷議員)

道の駅について、道の駅そのものは約 12 億になると思うが、これだけ多額なお金をつぎ込むのであれば、当然 3 月の予算特別審議の中で徹底的に議論しなければならない中身ではなかったのか。また、補助金は、50% を目指してやっているとのことであったが、40. 何% の状況であり、1 億 2,000 万変わってくる。この提案については反対である。

#### 賛成討論 (岡野議員)

国からの交付金等々の目途がついた今の時点で議論されていることは正しいと思う。また、道の駅の効果が町民の皆様全てに行き渡ることを期待し、賛成討論とする。

▶ 賛成多数により可決

### ■国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)

▶ 全会一致により可決

## 【専決処分】

### ■平成 27 年度一般会計補正予算 (第 7 号)

#### ■当別町税条例等の一部改正

#### ■当別町都市計画税条例の一部改正

#### ■当別町国民健康保険税条例の一部改正

### ■平成 27 年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)

#### ■和解及び損害賠償額の決定について

▶ 全会一致により承認

## 北海道町村議会議長会表彰



後藤議長が、25 年にわたり議会制度の高揚と地域の振興及び住民福祉の向上に尽くされ、地方自治の発展に寄与された功績が認められ、北海道町村議会議長会から表彰されました。

※平成 28 年第 4 回定例会初日、島田副議長 (写真右) から伝達を受ける後藤議長 (写真左)

# 平成28年第4回当別町議会定例会

(日程 6月14日～6月21日) 傍聴人数 54名

## 【補正予算】

### ■一般会計補正予算（第2号）

補正額 3,573万円（増）

平成28年度総額 93億8,598万円

#### 《主な補正内容》

○地域商社情報発信事業業務委託 851万円

○青年就農給付金事業（経営開始型） 593万円

○マイナンバー法施行に伴う基幹行政システム  
機器整備業務委託 540万円

○各団地屋根塗装工事 92万円

#### 質疑（鈴木議員）

農業10年ビジョン確立加速化支援事業について、ビニールハウスの希望が38棟あったとのことだが、何戸の農家からか。また、今後の希望状況により、計画年数の変更はあるのか。次に、基幹行政システム機器整備業務委託は、今回1回きりなのか。

#### （農林課長）

ハウスは、28戸の農家の方から希望があった。また、計画年数について、道の駅開設を目指し仕組んだ事業であるので、28年、29年の2ヵ年事業を基本として考えている。

#### （総務課参事）

基幹行政システム機器整備業務委託について、現行制度に基づいて行っていく部分に関して言えば、1回きりである。

### ■国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

### ■介護保険特別会計補正予算（第1号）

▶全会一致により可決

## 【専決処分】

### ■和解及び損害賠償額の決定について 3件

▶全会一致により承認

## 【人事案件】

### ■固定資産評価員の選任について

▶全会一致により同意

## 【条例の一部改正】

### ■当別町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正

▶全会一致により可決

## 【その他】

### ■平成27年度当別町一般会計繰越明許費繰越計算書について

### ■石狩地区広域穀類乾燥調製貯蔵施設に係る指定管理者の指定について

### ■当別町道路線認定について

### ■当別町道路線変更について

### ■北海道市町村職員退職手当組合理約の変更の協議について

### ■北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更の協議について

### ■北海道市町村総合事務組合理約の変更の協議について

## 【陳情】

### ■町営住宅の屋根塗装初め、修繕、補修の強化を求める陳情書

〈陳情者〉 藤井 力

荒田 譲

#### 《産業厚生常任委員会へ付託》

▶全会一致により採択

### ■拙速なTPPの国会承認を行わないことを求める陳情書

〈陳情団体〉

当別町農民同盟 委員長 堀 梅治

公益社団法人北海道勤労者医療協会当別社員支部

支部長 今野 一三六

新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子

全日本年金者組合当別支部 支部長 相馬 ひろ子

太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生

#### 《産業厚生常任委員会へ付託》

▶継続審査

### ■「最低賃金の大幅な引き上げと地域間格差の是正を求める意見書」の提出を求める陳情

〈陳情団体〉

札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信

#### 《総務文教常任委員会へ付託》

▶継続審査

### ▼平成28年第2回定例会で付託

### ■若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情

〈陳情団体〉

全日本年金者組合当別支部 支部長 相馬 ひろ子

当別町農民同盟 委員長 堀 梅治

公益社団法人北海道勤労者医療協会当別社員支部

支部長 今野 一三六

新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子

太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生

### ●産業厚生常任委員会の不採択の報告書について

#### 反対討論（鈴木議員）

この陳情は、これ以上年金を下げないでほしいという住民の切実な願いであり、しっかり受け止めることが非常に大事である。また、不採択ではなく、部分採択もできたのではないかと思う。よって、不採択の報告には反対である。

#### 賛成討論（山崎議員）

現状の国の厳しい財政状況を鑑みると、すぐには難しい陳情であると判断した。よって、委員会の不採択とする報告書には、賛成である。

▶賛成多数により不採択